

10:14 ですから、私の愛する者たちよ。偶像礼拝を避けなさい。

10:15 私は賢い人たちに話すように話します。ですから私の言うことを判断してください。

10:16 私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちの裂くパンは、キリストのからだにあずかることではありませんか。

10:17 パンは一つですから、私たちは、多数であっても、一つのからだです。それは、みんなの者がともに一つのパンを食べるからです。

10:18 肉によるイスラエルのことを考えてみなさい。供え物を食べる者は、祭壇にあずかるではありませんか。

10:19 私は何を言おうとしているのでしょうか。偶像の神にささげた肉に、何か意味があるとか、偶像の神に真実な意味があるとか、言おうとしているのでしょうか。

10:20 いや、彼らのささげる物は、神ではなくて悪霊にささげられている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってもらいたくありません。

10:21 あなたがたが主の杯を飲んだうえ、さらに悪霊の杯を飲むことは、できないことです。主の食卓にあずかったうえ、さらに悪霊の食卓にあずかることはできないことです。

10:22 それとも、私たちは主のねたみを引き起こそうとするのですか。まさか、私たちが主よりも強いことはないでしょう。

偶像との実際的な関わりについてパウロは警戒を促します。特に偶像にささげられた肉についてです。ささげられたからと言って、それで肉の状態そのものが変わるわけではありませんから、何も問題がな

いようにも思えますが、パウロは悪霊との関わりに線引きができなくなることを警戒するようにと戒めています。

偶像とはただの物体ですから、何もない空虚なものです。しかしその偶像を用いて悪霊が人間に影響力を行使するのです。「クリスチャンには何も禁じられていないから」と言って、無差別に受け入れることは危険です。偶像や世の悪しき習慣を無警戒で受け入れるのではなく、信仰や救いに害にならないかどうか、吟味して判断しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

